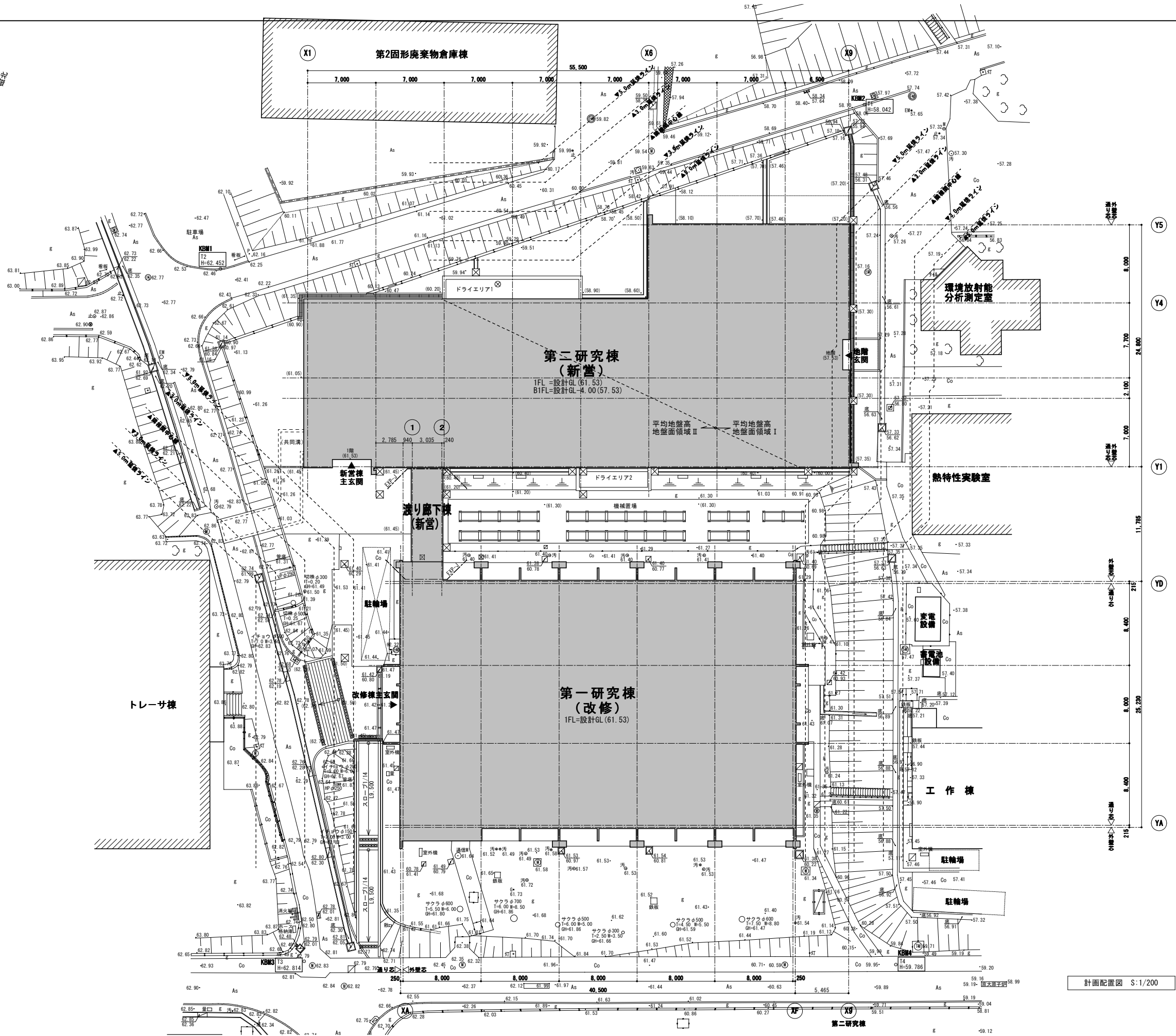


【平面図】



凡 例

	標準用床材
	注意喚起用床材
	排水溝
	現況レベル
	計画レベル

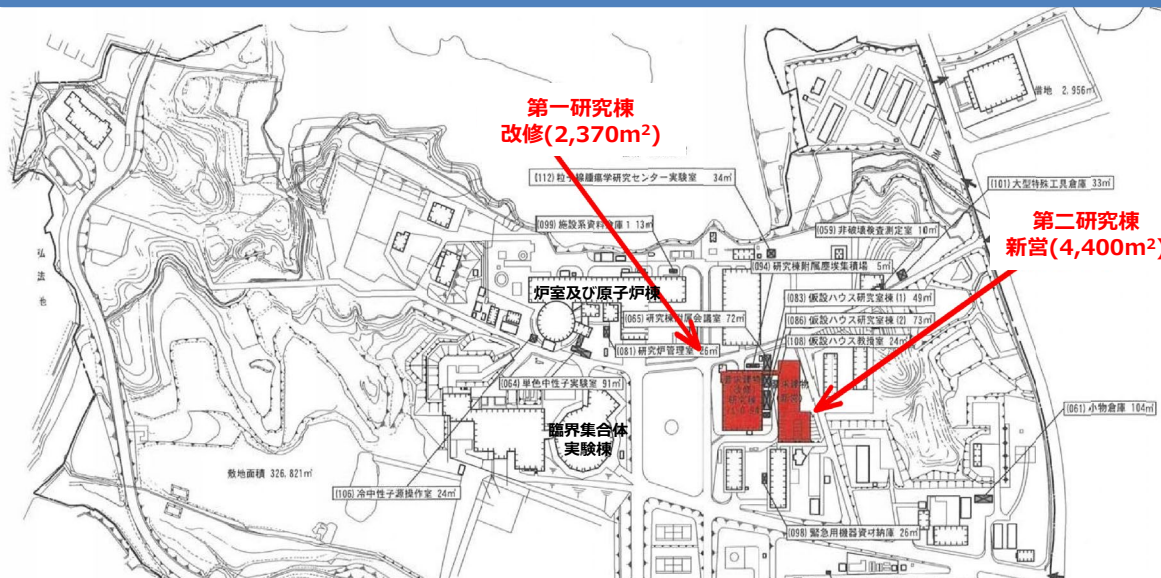


計画配置図 S:1/200



第二研究棟新営その他工事 事業の概要

第一研究棟改修 (2,370㎡) 、 第二研究棟新営 (4,400㎡) 、 ライフライン更新



- 防災設備等の更新により、原子力事故等を未然に防ぐ安全・安心な施設設備の長寿命化
- 研究教育スペースの捻出により、研究教育環境整備を促進
- アクティブ・ラーニングスペースやオープンラボの整備により、共同利用・共同研究（基盤的活動）拠点の機能強化

第一研究棟改修

3F	会議室・ アクティブ・ラーニングスペース
2F	教員室・研究室 ・実験室
1F	実験室 ・共同利用者控室

第二研究棟新営

3F	教員室・研究室
2F	教員室・研究室
1F	安全管理部門 緊急時対応拠点
地下1F	実験室・設備室

工事期間：2022(R4)年1月～2024(R6)年3月末

事業の目的

■ 第一研究棟の全面改修・第二研究棟の新営により、**原子力・放射線の安全かつ先端的な利用法の開発**や研究ユニット活動などにおいて、研究分野の枠を越えた研究者の積極的な連携・協働によって、**多様な異分野の融合を目的とした複合的原子力科学研究分野を更に推進**する。また、原子力発電の安全な運用や、老朽原発の廃炉等を担う**研究・技術者の人材育成**などにも貢献する。

安全管理部・室を第二研究棟へ集約し、**原子力災害対策の効率化や安全管理体制の強化**を図ることで、自然災害時の複合災害を防止するとともに、最先端研究基盤である研究炉等のより安全な運用により、**国内外の枠を越えた学術研究の発展**に大いに貢献する。

第二研究棟 完成イメージ図（北東側より）

